



2024年7月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年9月11日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川邊 史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理統括部長 (氏名) 宮本 省三

TEL 075-621-7841

定時株主総会開催予定日 2024年10月22日

配当支払開始予定日

2024年10月23日

有価証券報告書提出予定日 2024年10月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期の業績(2023年8月1日～2024年7月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	8,203	4.8	2,017	8.5	2,088	8.4	1,471	7.7
2023年7月期	7,830	22.3	1,858	35.6	1,927	30.1	1,366	29.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年7月期	183.25		12.6	13.5	24.6
2023年7月期	170.07		12.9	13.7	23.7

(参考) 持分法投資損益 2024年7月期 百万円 2023年7月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	16,116	12,299	76.3	1,531.26
2023年7月期	14,795	11,144	75.3	1,387.39

(参考) 自己資本 2024年7月期 12,299百万円 2023年7月期 11,144百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年7月期	1,642	292	103	4,637
2023年7月期	189	75	325	3,374

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年7月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年7月期		0.00		45.00	45.00	361	26.5	3.4
2024年7月期		0.00		45.00	45.00	361	24.6	3.1
2025年7月期(予想)		0.00		45.00	45.00		23.6	

3. 2025年7月期の業績予想(2024年8月1日～2025年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	4.7	960	5.2	970	8.8	660	11.7	82.16
通期	9,500	15.8	2,220	10.1	2,240	7.2	1,530	3.9	190.48

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期	8,042,881 株	2023年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	2024年7月期	10,441 株	2023年7月期	10,405 株
期中平均株式数	2024年7月期	8,032,462 株	2023年7月期	8,032,618 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】2ページ、「1. 経営成績等の概況(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(持分法損益等)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の変動	15
(2) 生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当事業年度における世界経済は、総じて緩やかに成長したものの、欧米諸国やわが国の政策金利動向、中国における労働市場や不動産市況の調整圧力、ウクライナや中東情勢等、先行きに不透明感を残す状況が続きました。

半導体等電子部品業界におきましては、チャットGPTに代表される生成AI（人工知能）の急速な活用拡大等を背景に、ロジック半導体市場やメモリ市場で需要が回復いたしました。また、供給面でもここ数年で各国が自国での半導体の生産能力を急速に高めており、市場規模の拡大が続きました。このような環境の中、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいては、5G（第5世代移动通信システム）の普及に伴いその「高速・大容量」「低遅延」「多接続」という特色を生かした新たな事業領域での開発投資が進み、本格生産への移行が着実に進んでおります。加えて、6G（Beyond 5G～普及が進んでいる5Gの性能をさらに進化させた次世代の移动通信システム）を中心とした情報ネットワーク基盤の実現に向けた世界最高レベルの研究開発環境の整備が進められており、研究開発向けの半導体等電子部品製造装置の需要が拡大しております。

当社の事業実態を分かりやすく反映させるため、当社の装置を用いて製造される半導体等電子部品の用途を下記のとおり分類し、売上構成を算出しております。

(用途概要)

用 途	概 要
化合物半導体分野	窒化ガリウム（GaN）、ガリウムヒ素（GaAs）、インジウムリン（InP）、炭化シリコン（SiC）などの化合物を材料に用いた半導体デバイスの加工用途です。化合物半導体はLEDや半導体レーザーといった光デバイス、電力の制御や増幅に使われるパワーデバイスや高速通信を実現するHEMT（High Electron Mobility Transistor）などの高周波デバイスに用いられます。
シリコン半導体分野	シリコンウェハの欠陥解析及びシリコン半導体に関する加工用途です。
電子部品分野	半導体を除く電子部品の加工用途です。主にMEMS（Micro Electro Mechanical Systems＝微小電気機械システム）、コンデンサ、インダクタ、各種センサー、高周波フィルターが含まれます。
ヘルスケア関連分野	マイクロ流体デバイスなどヘルスケアに関する加工用途などです。
その他	大学等の共用設備向けの装置など上記以外の加工用途です。
部品・メンテナンス	部品・メンテナンスに関する売上です。

(用途別売上高)

用 途	売 上 高 (千円)	構 成 比 (%)	前 期 比 増 減 率 (%)
化合物半導体分野	3,436,841	41.9	56.0
シリコン半導体分野	1,189,347	14.5	△14.3
電子部品分野	640,012	7.8	△41.1
ヘルスケア関連分野	64,338	0.8	△54.4
その他	1,579,255	19.3	24.3
部品・メンテナンス	1,293,363	15.8	△25.7
合計	8,203,159	100.0	4.8

なお、当事業年度の主な品目別の売上高は、次のとおりであります。

CVD装置の売上高は、「化合物半導体分野」では半導体レーザーや高周波デバイスの加工用途での販売があり、1,632百万円（前期比25.7%増）となりました。

エッチング装置の売上高は、「化合物半導体分野」では半導体レーザーや高周波デバイス、パワーデバイス、LEDの加工用途、「シリコン半導体分野」の欠陥解析用途などでの販売があり、4,671百万円（前期比18.0%増）となりました。

洗浄装置の売上高は、「化合物半導体分野」では半導体レーザーや高周波デバイスの加工用途での販売がありましたが、国内で大型機の販売が振るわず、605百万円（前期比27.3%減）となりました。

部品・メンテナンスの売上高は、既存装置のメンテナンスや部品販売、装置の移設・改造などですが、大口先の工場稼働率が一時的に低下したこともあり、1,293百万円（前期比25.7%減）となりました。

(品目別売上高)

品 目	売上高 (千円)	構成比 (%)	前期比 (%)
CVD装置	1,632,783	19.9	25.7
エッチング装置	4,671,056	56.9	18.0
洗浄装置	605,956	7.4	△27.3
部品・メンテナンス	1,293,363	15.8	△25.7
合計	8,203,159	100.0	4.8

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高が8,203百万円（前期比4.8%増）、営業利益は2,017百万円（前期比8.5%増）、経常利益は2,088百万円（前期比8.4%増）、当期純利益は1,471百万円（前期比7.7%増）となりました。

今後の経済環境につきましては、世界経済は緩やかな成長を続けるもと考えられるものの、国内においては、ドル円為替水準や個人消費の動向、海外経済においては、欧米諸国の金融政策、中国における労働市場や不動産市況の調整圧力、ウクライナや中東情勢等、引続き予断を許さない状況が続くことが予想されます。

このような環境の下、中期経営計画 第44期～第46期（2022年8月1日～2025年7月31日）において以下の課題に取り組み、施策の展開により事業計画の達成に努めております。

- ① クラスターツールシステムの拡販
- ② 海外販売の拡大
- ③ 生産体制の拡充
- ④ 成膜装置販売の強化
- ⑤ 新規事業の立ち上げ
- ⑥ 更なる成長に向けた人材育成・活用
- ⑦ 社内環境対策（サムコ環境方針）への取り組み強化

当事業年度末の受注残高は5,361百万円（前期比1.0%減）であり、化合物半導体分野では通信用・顔認証用・車載用の半導体レーザーやパワーデバイス用途、シリコン半導体分野では欠陥解析用途、電子部品分野では高周波フィルター用途等での受注を見込んでおります。また、ヘルスケア関連分野では引き続きアクアプラズマを重点製品として販売活動を推進しております。

以上の取り組みにより、次期の売上高は9,500百万円（前期比15.8%増）、営業利益は2,220百万円（前期比10.1%増）、経常利益は2,240百万円（前期比7.2%増）、当期純利益は1,530百万円（前期比3.9%増）となる見込みであります。なお、業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル＝140.00円としております。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、11,188百万円で前事業年度末に比べ1,012百万円増加いたしました。売掛金が673百万円、契約資産が132百万円減少した一方、現金及び預金が1,290百万円、電子記録債権が251百万円、棚卸資産が191百万円増加したのが主な要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、4,927百万円で前事業年度末に比べ308百万円増加いたしました。建物が19百万円減少した一方、建設仮勘定が181百万円、投資有価証券が68百万円、機械及び装置が48百万円増加したのが主な要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、2,833百万円で前事業年度末に比べ157百万円増加いたしました。買掛金が146百万円、未払法人税等が50百万円減少した一方、短期借入金が300百万円、契約負債が62百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、982百万円で前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。長期借入金39百万円減少した一方、退職給付引当金が29百万円、役員退職慰労引当金が12百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、12,299百万円で前事業年度末に比べ1,155百万円増加いたしました。繰越利益剰余金が1,110百万円、その他有価証券評価差額金が45百万円増加したのが主な要因であります。自己資本比率は76.3%と前事業年度末に比べ1.0ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ1,263百万円増加し、4,637百万円(前事業年度末比37.4%増)となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,642百万円(前期に使用した資金は189百万円)となりました。その主な内容は、法人税等の支払額が666百万円、棚卸資産の増加が245百万円に対して、税引前当期純利益が2,088百万円、売上債権及び契約資産の増加が561百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は292百万円(前期に使用した資金は75百万円)となりました。その主な内容は、定期預金の払戻による収入が2,680百万円に対して、定期預金の預入による支出が2,691百万円、有形固定資産の取得による支出が255百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は103百万円(前期に使用した資金は325百万円)となりました。その主な内容は、短期借入金の純増額が300百万円に対して、配当金の支払額が361百万円、長期借入金の返済による支出が39百万円であったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年7月期	2021年7月期	2022年7月期	2023年7月期	2024年7月期
自己資本比率(%)	77.9	78.0	75.2	75.3	76.3
時価ベースの自己資本比率(%)	203.9	204.0	168.7	288.8	212.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.8	1.4	0.8	—	0.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	245.5	142.5	303.5	—	360.9

(注) 1. 各指標は、下記の基準で算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。

4. 2023年7月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重点政策として位置付けております。経営体質の強化や研究開発における設備投資等に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する基本方針のもと剰余金につきましては業績連動的な配当の考え方を合わせて取り入れております。

また、当社は期末配当として年1回の剰余金の配当を行うことを基本方針としており、期末配当については株主総会にて決定しております。なお、当社は、「取締役会の決議により、毎年1月31日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。中間配当につきましては、年間を通じての出荷平準化の取り組みにより第2四半期累計期間での利益確保を前提に早期の実施を目指しております。

以上により当期の期末配当は、1株につき普通配当45円00銭を予定しております。また、次期の配当につきましても年間普通配当45円00銭を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当事業年度 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,301,752	6,592,297
受取手形	12,252	4,660
電子記録債権	182,574	434,463
売掛金	1,449,637	776,490
契約資産	1,040,189	908,010
製品	—	81,114
仕掛品	1,741,835	1,869,303
原材料及び貯蔵品	428,537	411,057
前払費用	9,815	18,485
その他	29,974	97,362
貸倒引当金	△20,984	△4,918
流動資産合計	10,175,585	11,188,327

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当事業年度 (2024年7月31日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,113,037	1,119,447
減価償却累計額	△824,645	△850,416
建物(純額)	288,392	269,030
構築物	27,100	26,536
減価償却累計額	△25,093	△25,190
構築物(純額)	2,007	1,346
機械及び装置	689,649	771,795
減価償却累計額	△670,345	△703,864
機械及び装置(純額)	19,303	67,930
車両運搬具	56,314	57,338
減価償却累計額	△52,778	△49,622
車両運搬具(純額)	3,536	7,715
工具、器具及び備品	256,030	280,386
減価償却累計額	△233,988	△247,451
工具、器具及び備品(純額)	22,042	32,934
土地	3,453,567	3,453,567
リース資産	50,790	57,983
減価償却累計額	△50,790	△50,064
リース資産(純額)	—	7,918
建設仮勘定	74,611	256,264
有形固定資産合計	3,863,459	4,096,707
無形固定資産		
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	1,402	10,376
ソフトウェア仮勘定	—	5,000
無形固定資産合計	4,364	18,338
投資その他の資産		
投資有価証券	300,794	369,068
関係会社株式	25,207	25,207
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	12,150	2,592
繰延税金資産	129,893	110,590
差入保証金	78,378	78,801
保険積立金	199,206	219,347
その他	991	2,045
投資その他の資産合計	751,621	812,652
固定資産合計	4,619,445	4,927,698
資産合計	14,795,031	16,116,025

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当事業年度 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	861,405	715,373
短期借入金	700,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
リース債務	—	1,939
未払金	126,249	139,625
未払費用	43,846	48,340
未払法人税等	411,448	360,674
契約負債	335,648	397,769
預り金	39,874	44,841
賞与引当金	25,500	27,300
役員賞与引当金	30,000	40,000
製品保証引当金	18,000	17,200
その他	44,069	499
流動負債合計	2,676,039	2,833,557
固定負債		
長期借入金	103,343	63,347
リース債務	—	5,979
退職給付引当金	476,640	505,830
役員退職慰労引当金	394,752	406,920
その他	—	597
固定負債合計	974,736	982,675
負債合計	3,650,775	3,816,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	4,367,000	4,367,000
繰越利益剰余金	2,837,418	3,947,948
利益剰余金合計	7,263,918	8,374,448
自己株式	△13,453	△13,656
株主資本合計	10,993,640	12,103,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,615	195,827
評価・換算差額等合計	150,615	195,827
純資産合計	11,144,255	12,299,793
負債純資産合計	14,795,031	16,116,025

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
売上高	7,830,591	8,203,159
売上原価		
製品期首棚卸高	7,974	—
当期製品製造原価	3,953,590	4,090,952
合計	3,961,565	4,090,952
製品期末棚卸高	—	81,114
製品売上原価	3,961,565	4,009,838
売上総利益	3,869,026	4,193,320
販売費及び一般管理費	2,010,032	2,176,159
営業利益	1,858,994	2,017,161
営業外収益		
受取利息	302	258
受取配当金	23,674	5,461
為替差益	30,609	51,170
受取賃貸料	11,437	11,102
補助金収入	1,904	1,822
売電収入	1,344	1,329
雑収入	3,167	5,679
営業外収益合計	72,439	76,823
営業外費用		
支払利息	4,268	4,843
固定資産除却損	0	488
営業外費用合計	4,268	5,331
経常利益	1,927,165	2,088,654
税引前当期純利益	1,927,165	2,088,654
法人税、住民税及び事業税	570,239	617,229
法人税等調整額	△9,202	△566
法人税等合計	561,037	616,663
当期純利益	1,366,127	1,471,991

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	1,752,437	6,178,937	△12,238	9,909,873
当期変動額									
剰余金の配当						△281,146	△281,146		△281,146
当期純利益						1,366,127	1,366,127		1,366,127
自己株式の取得								△1,214	△1,214
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,084,981	1,084,981	△1,214	1,083,766
当期末残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	2,837,418	7,263,918	△13,453	10,993,640

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	147,658	147,658	10,057,532
当期変動額			
剰余金の配当			△281,146
当期純利益			1,366,127
自己株式の取得			△1,214
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,956	2,956	2,956
当期変動額合計	2,956	2,956	1,086,723
当期末残高	150,615	150,615	11,144,255

当事業年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	2,837,418	7,263,918	△13,453	10,993,640
当期変動額									
剰余金の配当						△361,461	△361,461		△361,461
当期純利益						1,471,991	1,471,991		1,471,991
自己株式の取得								△203	△203
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計						1,110,529	1,110,529	△203	1,110,325
当期末残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	3,947,948	8,374,448	△13,656	12,103,966

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	150,615	150,615	11,144,255
当期変動額			
剰余金の配当			△361,461
当期純利益			1,471,991
自己株式の取得			△203
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	45,211	45,211	45,211
当期変動額合計	45,211	45,211	1,155,537
当期末残高	195,827	195,827	12,299,793

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,927,165	2,088,654
減価償却費	57,476	83,247
受取利息及び受取配当金	△23,976	△5,719
支払利息	4,268	4,843
為替差損益(△は益)	△28,118	△32,125
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,842	△16,066
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,800	1,800
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2,600	△800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,934	29,189
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,798	12,168
売上債権の増減額(△は増加)	△1,038,387	428,849
契約資産の増減額(△は増加)	△263,116	132,179
棚卸資産の増減額(△は増加)	△667,825	△245,231
仕入債務の増減額(△は減少)	81,813	△146,032
契約負債の増減額(△は減少)	118,269	62,121
その他	13,301	△89,251
小計	212,977	2,307,827
利息及び配当金の受取額	24,100	5,724
利息の支払額	△4,378	△4,551
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△422,095	△666,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	△189,395	1,642,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,647,225	△2,691,409
定期預金の払戻による収入	2,607,935	2,680,561
投資有価証券の取得による支出	△6,416	△3,192
有形固定資産の取得による支出	△18,852	△255,775
貸付金の回収による収入	13,304	10,168
保険積立金の積立による支出	△20,140	△20,140
その他	△4,534	△12,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,930	△292,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△39,996	△39,996
自己株式の取得による支出	△1,214	△203
配当金の支払額	△281,146	△361,461
その他	△2,838	△1,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,194	△103,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	45,305	16,671
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△545,215	1,263,408
現金及び現金同等物の期首残高	3,919,589	3,374,374
現金及び現金同等物の期末残高	3,374,374	4,637,782

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	CVD装置	エッチング装置	洗浄装置	部品・メンテナンス	合計
外部顧客への売上高	1,299,424	3,957,103	833,607	1,740,456	7,830,591

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	台湾	中国	韓国	米国	東南アジア・インド	その他	合計
5,145,463	248,827	1,269,076	475,902	445,763	109,724	135,835	7,830,591

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
スカイワークスフィルターソリューションズ ジャパン(株)	798,511	半導体等電子部品製造装置の製造及び販売

当事業年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	CVD装置	エッチング装置	洗浄装置	部品・メンテナンス	合計
外部顧客への売上高	1,632,783	4,671,056	605,956	1,293,363	8,203,159

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	台湾	中国	韓国	米国	東南アジア・インド	その他	合計
4,408,249	350,956	1,936,031	506,824	824,063	113,433	63,599	8,203,159

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
国立研究開発法人 情報通信研究機構	731,897	半導体等電子部品製造装置の製造及び販売

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり純資産額	1,387円39銭	1,531円26銭
1株当たり当期純利益	170円07銭	183円25銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
当期純利益(千円)	1,366,127	1,471,991
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,366,127	1,471,991
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,032	8,032

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

2024年9月11日付で公表いたしました「役員の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

③ 新執行役員体制 (2024年10月22日以降予定)

専務執行役員	山下 晴彦	(取締役 生産統括部長 兼 製造部長)
執行役員	宮本 省三	(取締役 管理統括部長 兼 経理部長)
執行役員	佐藤 清志	(取締役 営業統括部長)
常務執行役員	外山 信一	(技術開発副統括部長 兼 クラスタ事業担当部長)
執行役員	松出 和男	(海外事業統括部 部長(海外事業管理統括))
執行役員	江崎 裕二	(資材部長)
執行役員	ヘンリー・チャン	(USオペレーション担当部長)
執行役員	上杉 能章	(海外事業統括部 部長(海外営業統括) 兼 海外営業1部長 兼 海外営業3部長)
執行役員(新任)	奥野 英治	(生産副統括部長 兼 設計部長)

(2) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)		当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	1,487,309	17.8	1,740,273	21.4
エッチング装置	4,090,701	48.9	4,627,723	57.0
洗浄装置	976,525	11.7	352,957	4.4
部品・メンテナンス	1,818,594	21.7	1,392,908	17.2
合計	8,373,131	100.0	8,113,862	100.0

(注) 金額は販売価格によっております。

② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)		当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	1,293,600	1,147,975	1,833,524	1,348,715
エッチング装置	4,742,346	3,462,025	4,736,604	3,527,574
洗浄装置	755,993	324,606	383,943	102,593
部品・メンテナンス	1,429,529	484,018	1,192,442	383,097
合計	8,221,470	5,418,624	8,146,515	5,361,980

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 受注残は収益認識会計基準等の適用後の数値を記載しております。

③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)		当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
エッチング装置	3,957,103	50.5	4,671,056	56.9
洗浄装置	833,607	10.6	605,956	7.4
部品・メンテナンス	1,740,456	22.2	1,293,363	15.8
合計	7,830,591	100.0	8,203,159	100.0

(注) 主な輸出地域、輸出版売高及び割合は次の通りであります。

(単位：千円)

区分 (地域別)	前事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)		当事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
北米	445,802	16.6	824,063	21.7
欧州	64,449	2.4	51,122	1.3
その他	71,347	2.7	12,477	0.3
輸出版売高合計	2,685,128 (34.3%)	100.0	3,794,909 (46.3%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出版売高の割合です。